

統合分野

在宅看護実習
看護の統合と実践

在宅看護実習

在宅看護実習

1. 実習目的

地域で生活する人々の健康上の問題と関連する諸問題を理解し、保健医療および福祉の実態をとらえ、看護の役割、機能を果たす能力を養う。

2. 実習目標

- 1) 地域で生活しながら療養する人、あるいは障害をもちながら生活する人とその家族の抱えている問題を理解する。
- 2) 在宅療養における看護の役割と援助の方法を理解する。
- 3) 保健・医療・福祉システムの中での看護の役割を理解する。
- 4) 在宅療養に必要な社会資源の活用と関係機関との連携を学ぶ。

3. 実習内容

	一般目標	行動目標	実習内容
デイサービスセンター・高齢者福祉施設	在宅療養者および家族に対するサービスの実際を学び、在宅療養上の問題を理解する。	1) 在宅看護を支える制度について、述べるができる。 2) 保健・医療・福祉との協働の中での看護の役割を述べるができる。 3) 社会資源の活用方法について考えることができる。 4) 地域で生活する高齢者の生活と健康について考えることができる。 5) デイサービス・高齢者福祉施設を利用している高齢者に対し、日常生活の援助ができる。	(1)在宅看護に関わる諸制度 ・介護保険制度 ・健康保健法による訪問看護制度 ・老人訪問看護制度 ・地域保健および在宅療養を支える制度 ・各福祉制度 (2)各サービスとの関連性について (1)保健・医療・福祉との協働の実際 ・介護保険下におけるケアプラン会議 ・介護支援専門員による連絡会議 ・各機関との連絡調整 ・訪問調査 (1)施設サービスと居宅サービス (2)インフォーマルとフォーマルなサービス (1)デイサービスでの利用者の送迎 (2)家族との情報交換 (3)健康状態の観察 (4)施設内の日課 (5)生活環境 (1)日常生活の援助 ・リハビリテーション ・利用者とのコミュニケーション ・入浴介助などの清潔の援助 ・更衣 ・食事観察および介助 ・移動 ・排泄の援助 ・レクリエーション
児童発達支援センター	地域で生活する心身に障がいのある児とその家族を理解する。	1) 精神発達に障がいや遅れのある幼児に対し行われている指導について述べるができる。	(1)見学実習 ・生活のリズムを整える指導 ・遊ぶ力を育てる指導 ・心とことばを育てる指導 ・生活習慣を身につける指導

	一般目標	行動目標	実習内容
児童発達支援センター		<p>2) 肢体不自由児に対する機能回復訓練や生活指導について述べるができる。</p> <p>3) 心身に障がいのある児とその家族のかかえている問題について述べるができる。</p>	<p>(1)見学学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能訓練の実際 ・生活指導の実際 ・母親または介護者と児とのかかわり ・母親または介護者と指導員とのかかわり <p>(1)母子がこれまで受けて来た訓練の経過</p>
訪問看護ステーション	<p>1. 在宅療養者とその家族を身体・心理・社会的側面から総合的にとらえることができる。</p> <p>2. 在宅療養者とその家族への実際の援助活動を通して、看護の役割を理解できる。</p> <p>3. 保健・医療・福祉の連携と社会資源の活用方法を理解できる。</p>	<p>1) 在宅療養者とその家族を理解するために、必要な情報を収集できる。</p> <p>2) 在宅療養者とその家族の心理を理解することができる。</p> <p>3) 訪問時の在宅療養者の生活環境の実態を、情報としてとらえることができる。</p> <p>4) 在宅療養者とその家族の健康問題に影響する因子をとらえ、問題点を抽出できる。</p> <p>5) 在宅療養者とその家族の介護負担感についての視点をもつことができる。</p> <p>1) 在宅療養者とその家族の生活環境や、生活習慣に応じた援助方法の必要性を理解できる。</p> <p>2) 訪問看護ステーションの看護計画に基づき、訪問目的を明確にすることができる。</p> <p>3) 看護師の指導のもと、安全安楽を考え援助することができる。</p> <p>4) 在宅療養者とその家族への援助の実際を通し、療養者および家族の反応をとらえ評価することができる。</p> <p>5) 在宅という場における看護の役割と継続看護の重要性について、自分の考えを述べるができる。</p> <p>1) 在宅療養者を支援する制度や社会資源サービスについて説明できる。</p> <p>2) 在宅療養者をささえる専門職種の活動と連携の実際を説明できる。</p> <p>3) 看護職としてのケア・コーディネートの視点について自己の考えを述べるができる。</p>	<p>(1)訪問看護（1事例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集 ・医師の指示の確認 ・生活を支えるための社会資源の利用 ・問題点の抽出 <p>(1)援助の方向性 (2)援助の実施と評価 (3)在宅療養の意義と在宅看護の役割 (4)継続看護</p> <p>(1)対象を支える制度と社会資源</p>

	一般目標	行動目標	実習内容
訪問看護ステーション	4. 在宅療養者とその家族、および医療チームとよい人間関係を築くことができる。	1) 訪問者としてのマナーに配慮し、相手を尊重した言葉づかい、態度で接することができる。 2) 訪問時に知り得た在宅療養者とその家族のプライバシーに配慮できる。	(1)訪問技術 (2)倫理的配慮

4. 実習時間（単位） 90 時間（2 単位） 3 学年

1) デイサービスセンター	(釧路鶴ヶ岱啓生園)	} 5日 30時間
2) 高齢者福祉施設	(")	
3) 児童発達支援センター	(野のはな園)	2日 12時間
4) 訪問看護ステーション	(釧路地域訪問看護ステーション) (釧路町訪問看護ステーション) (はるとりの里訪問看護ステーション)	} 7日 48時間
	※7日のうち1日のみ6時間の実習となる。	

5. 実習方法

- 1) 訪問看護ステーション実習では、療養者1事例を受け持つ。
- 2) 服装
 - ・訪問看護ステーションでは実習衣または、動きやすい服装（ジャージ、トレーナーなど）とする。
 - ・デイサービスセンター・高齢者福祉施設実習では動きやすい服装（ジャージ、トレーナーなど）とし、上履き・着替えを持参する。
 - ・児童発達支援センター実習でのネームは、小児看護学実習に準ずる。

6. 実習記録

- 1) 実習の記録（P52）を参考に作成する。
- 2) 実習記録は実習終了後、記録内容を整理し、実習終了翌日に提出とする。

7. 実習評価

在宅看護実習評価表 (1) (2) (P79, 80) を用いて評価。

看護の統合と実践

総合実習

1. 実習目的

- 1) 保健・医療・福祉における看護の機能と役割を理解し、実践できる能力を養う。
- 2) 病院組織の中で、看護単位における機能と役割について学ぶ。
- 3) 自己の看護観の確立を目指す。

2. 実習目標

- 1) 看護管理について学び、保健医療チームにおける看護の役割と機能を理解する。
- 2) 既習の知識・技術・能力を統合し、看護実践能力を高める。

3. 実習方法

- 1) 実習時間は、8:30 から 18:30 の時間帯とする。
- 2) 週別実習内容

1 週目 — チームメンバーとして実習

2 週目 — チームメンバーとして実習（ただしチームリーダーを1～2日実習し、看護師長業務、実習指導者としての役割については説明を受け、助手業務については体験する）

※実習予定表（P36）を事前に病棟で記載してもらい、学生は予定表に基づいて行動計画を立案し、実習する。

4. 実習時間（単位）

90 時間（10 日間） — 2 単位

5. 実習内容

一般目標	行動目標	実習内容
1. 病院における看護組織を理解できる。	組織のあり方を理解し、組織の一員であることを自覚できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・病院組織における看護部門の位置づけ ・看護管理業務 (人事、業務、物品、安全管理等)
2. 一看護単位における看護体制を理解できる。	看護体制を理解し、メンバーの役割行動に活かすことができる。	看護方式の種類とその内容 <ul style="list-style-type: none"> ・機能、業務別看護方式 ・受持制看護方式 ・混合型看護方式 ・チームナーシングシステム 勤務体制（形態）の種類とその内容 <ul style="list-style-type: none"> ・3交代制等

一般目標	行動目標	実習内容
3. 看護チームのメンバーの役割と責任について理解できる。	<p>1) チームメンバーであることを自覚し、責任ある行動をとれる。</p> <p>2) 複数の患者を受け持ち、援助の優先順位を考えた行動ができる。</p>	<p>看護の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申し送りを受け、患者を把握する ・ 業務の優先度の判断 ・ 看護計画の立案・展開 ・ 看護の実践と報告、記録 ・ 情報提供・入退院の看護 ・ 他部門との関連業務 ・ 継続看護の必要性 ・ リーダーとの連携 ・ カンファレンスへの参加 ・ 医療安全 ・ 看護師長業務の説明を受ける ・ チームリーダー、助手業務の体験 ・ 実習指導者の役割 ・ 看護上の問題点の把握 ・ 患者のスケジュールや業務の調整 ・ 行動計画の立案・修正 ・ 優先度の決定・状況判断の評価

6. 実習記録

実習の記録（P52）を参考に作成する。

7. レポート

レポート用紙（A4版）3枚程度にまとめ、実習終了後翌週の水曜日に実習記録と共に担当教員に提出する。

テーマは「看護に対する私の考え」で自由記載とする。

8. 実習評価

総合実習評価表（P81）を用いて、実習終了後2週間以内に臨床指導者と担当教員で評価を行う。

病棟

総合実習予定表

釧路市立高等看護学院

氏名		A	B	C
月	日			
1 週 目	/ 月			
	/ 火			
	/ 水			
	/ 木			
	/ 金			
2 週 目	/ 月			
	/ 火			
	/ 水			
	/ 木			
	/ 金			